

桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.foo.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。どなたでもご参加いただけます。それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いださうという場です。

第36回 2016年 1月23日(土) 15:00 ~ 18:00

早稲田大学 早稲田キャンパス16号館5階 506号室

★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。

☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

参加無料

★いつもの教室と違って5階です。ご注意ください!



『佐野碩一人と仕事 1905-1966』刊行記念 決定版 佐野碩の世界

没後50年という区切りの年に、
いままで謎に包まれていた演出家
佐野碩の全貌が明らかになる!

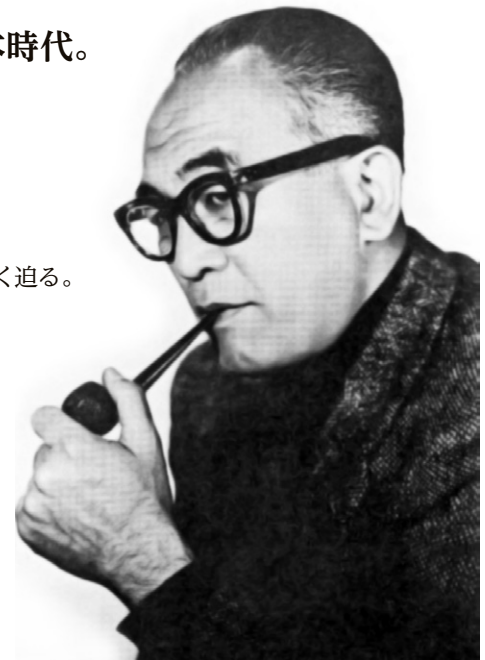
官憲の迫害を受けながらプロレタリア演劇をつくっていた戦前の日本時代。

メイエルホリドの弟子として過ごしたソ連時代。

スターリンによって追放され、逃げ延びたメキシコ時代——

大きな時代の荒波を乗り越え、越境する演劇人として世界の演劇界に大きな足跡を残したこの演出家の仕事を、800頁に及ぶ大著としてまとめあげた本が昨年末に上梓された。

この『佐野碩一人と仕事 1905-1966』の刊行を記念して編集・執筆者を招き、巨人佐野碩に鋭く迫る。



「メキシコ演劇の父」と称される“越境する演劇人”の全貌

『佐野碩一人と仕事 1905-1966』

菅孝行 編

佐野碩、田中道子、藤田富士男、岩本憲児、加藤哲郎、萩原健、伊藤愉、吉川恵美子、スサーナ・ウェイン、ホビータ・ミジャン・カランサ、ギジェルミーナ・フエンテス・イバーラ、菅孝行

藤原書店 2015年12月30日刊 / A5上製 / 800頁・口絵8頁

ISBN: 978-4-86578-055-0 定価: 10,260円(本体9,500円+税)

『佐野碩一人と仕事 1905-1966』について

報告者: 菅 孝行

本書の編集者として、構成、内容について解説するほか、本書第Ⅱ部「芸術は民衆のものだ!」の中で取り上げられている統一戦線論の現代的解釈や『MNZ』再評価の必要性についても論及する。

メキシコの佐野碩研究—現状とこれからの課題

報告者: 吉川 恵美子

本書に共著者として参加している3人のメキシコ人研究者は「ロドルフォ・ウシグリ演劇研究センター」の「佐野碩セミナー」(田中道子氏主宰)のメンバーである。このセミナーを中心に展開されるメキシコにおける佐野碩研究の現状を踏まえたうえで、佐野碩アーカイブ整備の必要性について考えたい。

『赤い貴族』の時代と佐野碩の『転向』

報告者: 加藤 哲郎

佐野碩は、戦前「赤い貴族」とよばれた良家出身の左翼の一人だった。1930年5月の共産党シンパ事件で、小林多喜二や中野重治と共に検挙されたが、家族の奔走と前年没した祖父後藤新平の威光で、いち早く保釈された。それは転向であったか、偽装転向なのか、それとも新天地への戦線復帰であったのか。

特別販売

当日会場では本著『佐野碩一人と仕事 1905-1966』(定価税込10,260円)を特別割引販売いたします。

また第9回桑野塾「佐野碩スペシャル」(2011年7月開催/報告者: 田中道子・加藤哲郎)の抄録を掲載した

雑誌『アートタイムズ』8号「桑野塾という「広場」」(販売価格800円・税なし)も販売します。

※「アートタイムズ」8号は残部僅少のため売り切れの場合はご容赦ください。

●問合せ・申込み:

大島幹雄(おおしま・みきお)

E-mail: izj00257@nifty.com

電話: 090-2207-8185